施工者向けガイド

サニプロ

本書は、製品の性能、および機能が十分に発揮されるようにしていただくためのガイドです。
内容をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

1. 取付前の注意事項

1-1　メンテナンススペース

サニプロ本体の設置時には、メンテナンス等を考慮して、適切なスペースを確保してください。また、隠ぺい仕様の場合は点検口を設けてください。詳細に関しては、本ガイド「**4-3** 点検口・更新口の設置」を参照してください。

1-2　分解・改造の禁止

本製品の分解、および改造を行わないでください。故障・火災・感電・けが等の原因となります。

1-3　接続できない器具・機器

手洗い以外の厨房などの流し排水には接続しないでください。

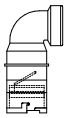
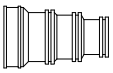
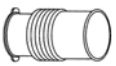
1-4　高温排水、および溶剤・酸・化学薬品

45℃以上の排水を流す可能性のある排水器具や機器等には使用できません。また、溶剤・酸・化学薬品を流す恐れのある排水器具や機器等には使用できません。

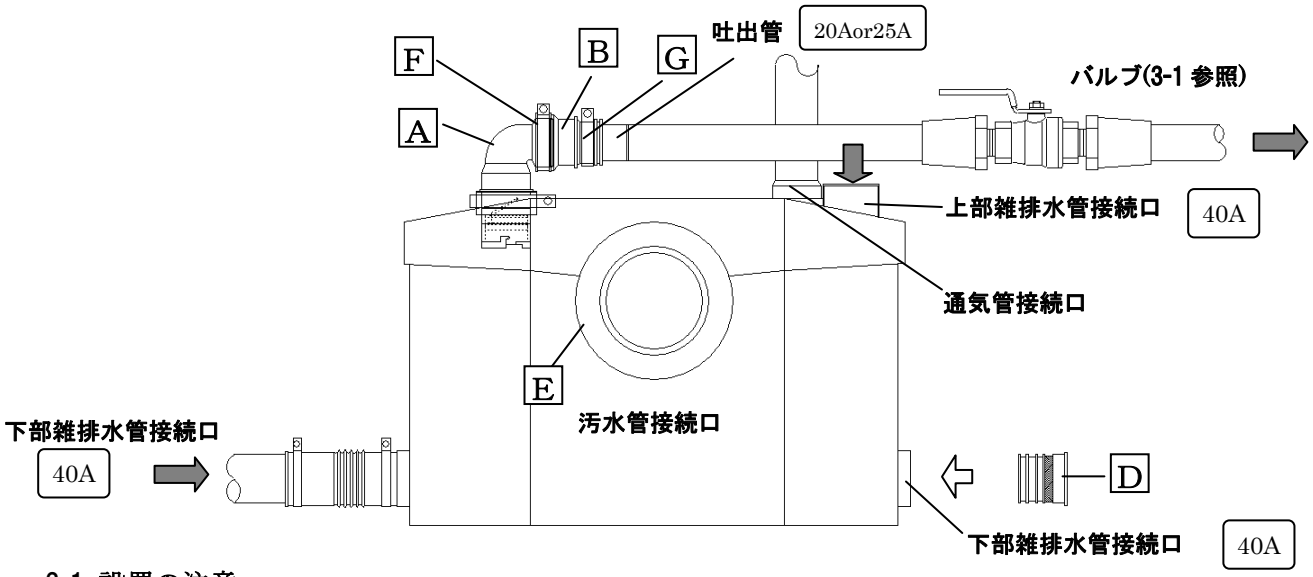
1-5　本製品のメンテナンスについて

本製品は特定のメンテナンスを必要としませんが、本製品に接続した排水器具、および機器等の使用頻度によっては異物・油脂分が本体ケース内に堆積して固着しますので、適宜清掃をする必要があります。清掃をするためには本製品を取り外す必要がありますので、メンテナンススペースを確保して設置してください。

2. 付属品

A	B	C	D	E	F	G
						
逆止弁付吐出エルボ×1 個	ﾗﾊﾞｰｼﾞｮｲﾝﾄ ×1 個	ﾗﾊﾞｰｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ ×2 個	プラグ×2 個	バンド 100× 1 個	バンド 45× 6 個	バンド 30× 1 個
施工者向けガイド / 取扱説明書・保証書 / 「排水ポンプ使用上のご注意」ｽﾃｯｶｰ						

3. 各部の名称



3-1 設置の注意

ポンプ本体から 500mm 以内の手の届く位置の吐出管にバルブを必ず設けてください！

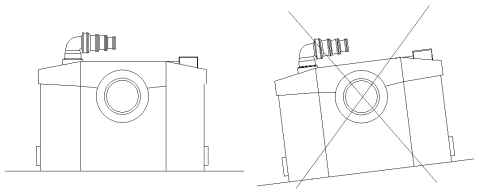
（試運転調整やメンテナンス時など、ポンプ本体を取りはずす際に必要となります。）。

4. 本体の設置

4-1　設置の注意

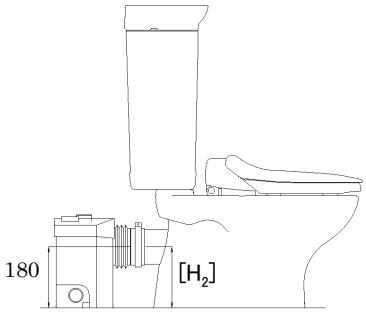
ポンプ本体は水平に設置してください。

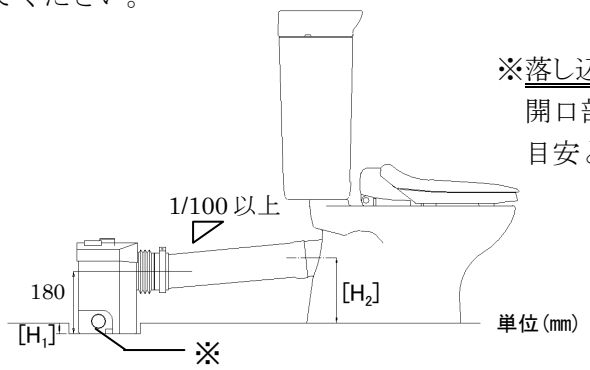
<ご注意！>　ポンプ本体が傾いていると、正常に作動しないことや故障の原因になる恐れがあります。



4-2　設置の高さ

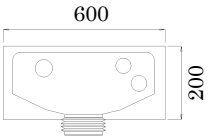
便器の排水芯[H_2]寸法の確認します。次に便器とポンプ間をベンド管などで接続する場合は、1/100 以上のこう配が取れることを確認してください。





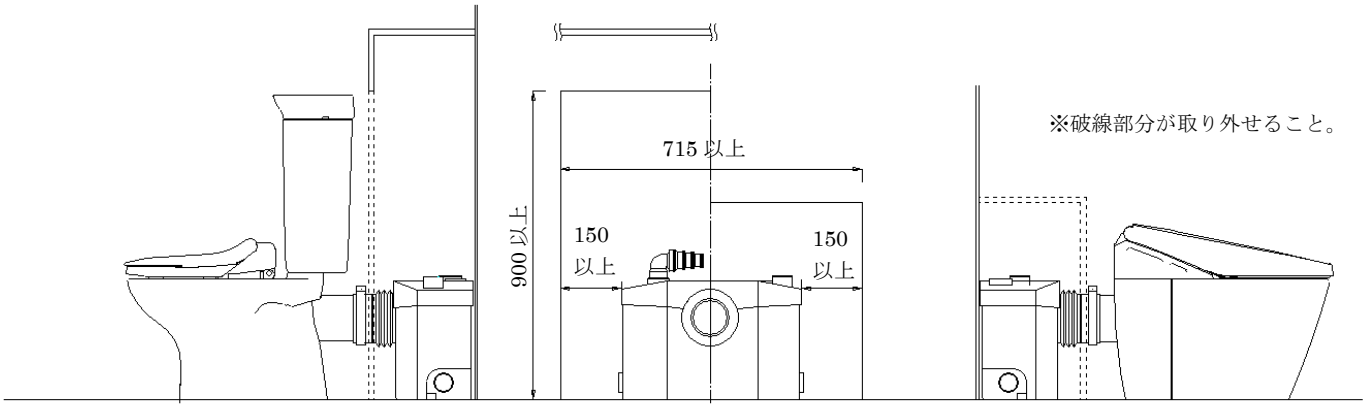
※落し込み開口寸法

開口部は内寸 200×600 以上を目安として、確保してください。



4-3　点検口・更新口の設置

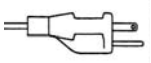
ポンプを隠ぺいする場合は、適切なサイズの点検口・更新口及びメンテナンス空間を設けてください。
点検口の寸法は、下図を参考に確保してください。

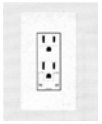


単位(mm)

4-4　配線用差込プラグの種類

プラグは、2 極接地極付差込プラグです。
接地極付コンセントをご用意ください。

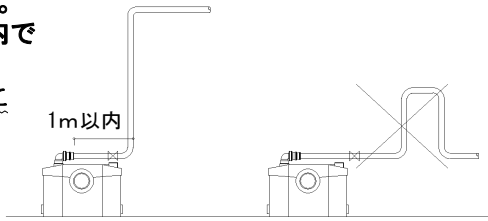




（参考）
接地用端子付き
接地極付コンセント

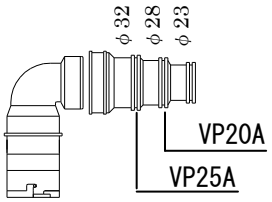
5. 配管接続

<ご注意！>
- **パイプはラバージョイント B 、ラバーカップリング C 接続する際には必ず配管の面取りをしてください。面取りをしないとラバーが損傷し漏水の原因になる恐れがあります。**
- **吐出管を立ち上げる場合は、逆止弁付吐出エルボ A から 1m 以内で立ち上げ、鳥居配管にならないようにしてください。**
- ポンプ本体から 500mm 以内の、点検口から手の届く位置の吐出管にバルブを必ず設けてください！
- 吐出管は 1m 間隔で支持金具を使用して固定してください。



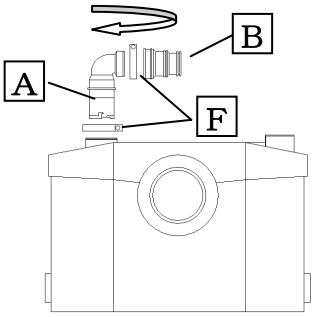
5-1　吐出管接続方法

①ラバージョイントBを配管サイズに合わせて、右図に示す位置でカットします。



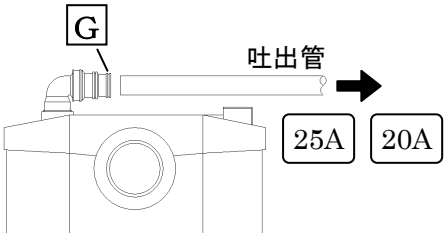
②逆止弁付吐出エルボAをすきまがなくなるまで本体に押し込みます。

③右回し（時計周り）に回転させて逆止弁付吐出エルボAの向きを吐出管の方向に合わせ、バンド45Fで締め付けて固定します。



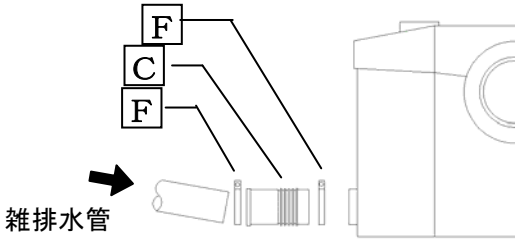
④逆止弁付吐出エルボAの先にラバージョイントBを取り付け、バンド45Fで締め付けます。

⑤吐出管 25A 又は 20A をラバージョントBに差し込み、バンド30Gで締め付けます。



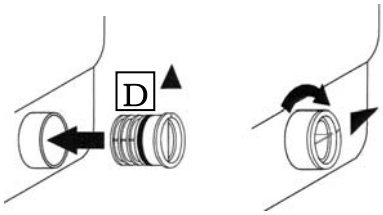
5-2　下部の雑排水管接続方法

ラバーカップリングCを差し込み、バンド45Fで締めます。
器具からの雑排水管も同様にバンド45Fで締めます。



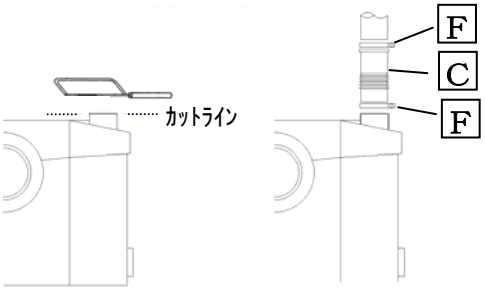
5-3　下部雑排水管接続口を使用しない場合

プラグ D は2箇所ある下部雑排水管接続口の閉止栓です。
右図のようにプラグ D に付いている▲印を上にして、完全に納まるまで押し込み、90℃回転させて固定します。



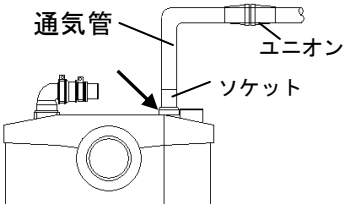
5-4　上部の雑排水管接続方法

上部雑排水管接続口を使用する場合、ノコギリ等で上端の段差部分を切り取り、切断面を面取りした後、ラバーカップリング C の左右に取っ手が付いている方を本体側に差し込み、逆側にパイプを差し込んでバンド45F で締め付けます。



5-5　通気管接続方法

通気管接続口に 25A 又は 25×20A ソケットを使用して接続します。
本体ケースの材質都合上、塩ビパイプ用接着剤を使用しても接着できませんので、矢印箇所にコーキング等を塗布して固定してください。
通気管には、本体蓋を開閉する時、簡単に取り外せるような場所にユニオン等を必ず取り付けてください。



〈ご注意！〉

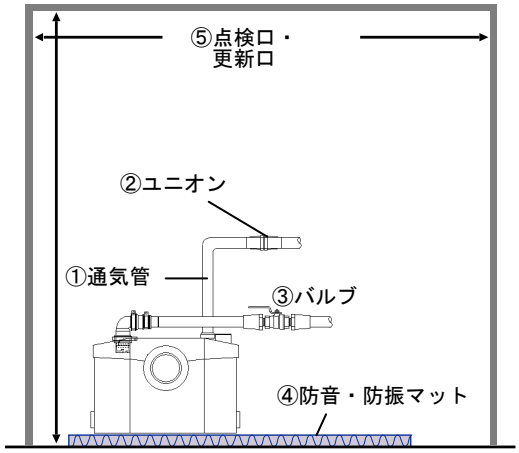
・吸気弁・排気弁は使用できません。

・通気管の先端は、必ず外気開放にしてください。また、通気管の先端にゴミ等が詰まって閉塞する恐れがある場合は、拡径する等の防止策をとってください。

6. 設置後の注意事項

6-1 チェックポイント

- □ 通気管が設置され、端部が外気に開放されていますか。⇒右図①
- □ 通気管にユニオン等が取り付けられていますか。⇒右図②
- □ 吐出管に本体取り外し用のバルブを設けてありますか。⇒右図③
- □ 必要により、防音・防振対策は施されていますか。⇒右図④
- □ 凍結する恐れのある場合、凍結防止対策は施されていますか。
- □ アースは確実に取り付けられていますか。
- □ 排水芯の低い排水器具が接続されている場合、
  排水芯とポンプの設置レベルの高低差が 150mm 以上確保されていますか。
- □ 本体の点検・交換ができるように、適切なサイズの点検口・更新口及びメンテナンス空間が確保されていますか。⇒右図⑤
- □ 同梱されている「排水ポンプ使用上のご注意」ステッカーが、ユーザーの目が届く適切な場所に貼られていますか。⇒右図⑥



⑥

6-2 試運転

通電とバルブが全開になっていることを確認します。テスト排水を行い、作動と漏れ等がないことを確認してください。

テスト排水の例:大洗浄を２回くり返して流す。次に、トイレットペーパーを投入し、１回の大洗浄で便器内から排出されることを確認する。

〈お願い〉
「施工者向けガイド(本書)」・「取扱説明書」・「保証書」・「排水ポンプ使用上のご注意」ステッカーをお客様へお渡しください。

8. アフターサービスのご案内

『ポンプが動かない』『ポンプが止まらない』などの異常がある場合は、速やかに差込プラグを抜き、排水器具の使用を中止し、シリアル番号とポンプの状態を確認してこの装置を設置した業者、または当社(TEL 03-3263-1578)までご連絡ください。

JES CORPORATION
株式会社ジエス http://www.jes-it.co.jp/
本社/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-4-4 第５田中ビル TEL.03-3263-1578 FAX.03-3264-4845
大阪営業所/〒531-0072 大阪市北区豊崎 7-7-7 ノバカネイチ中津 703 TEL.06-6375-3706 FAX.06-6375-3708

(No.SPR1302A)